

婦負の野



〒930-0143
富山県富山市西金屋6682番地
社会福祉法人めひの野園
TEL.076-436-0270
発行責任者 中田 匡
(表題書)
高岡市中川上町3の31
(故)社舗 萩水先生



陶芸教室に携わって

平成13年に「陶芸の指導を」という話をいただき、めひの野園に通い始めて今年で15年目になります。園内を見学させてもらって、いろんな作業を行っていることに驚き、自分もその一端を担うのだと感じました。

最初は土に触れることから始まり、一貫して作業を行えるようになってもらうために、その流れをどのように理解してもらおうかを、お互いに手探りの状態で一步一步と進んできました。当初は、それまでに備わっていた物を活用し、その時に出来る事から始め、それから徐々に、土を改良したり、釉薬を改良したりして、よりやりやすい方向へと変わっていききました。

ここで指導する事が、園や地域に貢献することになると心掛け、週一回という限られた時間の中で、ある程度までの技術を修得していただくために、職員の方とはお互いに話し合いながら作業を進めていきました。しかし、利用者とはそんなにスムーズに事は運びませんでした。その作業能力には驚かされるものがあり、とにかく手早く、手慣れている、持続性があるのです。それでも「少し変えた方が良さそうだろ」と、気付いたところを指摘してみても、「このままで良い」と、頑として変えようとしません。一種のこだわりのようなものがあるのだと認識させられました。

作業だけでなく、行動一つをとっても、それなりに一本の筋が通っているように思われます。それぞれに皆が持っている個性を見守ることが大切なのだと思います。このような環境の下で、関係者と利用者がお互いを思いやりながら、今後のめひの野園が、ますます発展されますことを願っています。

越中立山麓窯 安田 成典(陶芸教室講師・写真左)

特集

それぞれのスキルup!!

研修① 発達障害支援
スーパーバイザー養成研修

発達障害者支援センターありそ
発達支援担当 上野 亜由美



スーパーバイザー養成研修とは

教育や福祉の現場において、正しい支援を行っているつもりが、理解不足による誤った支援がなされ、その結果、二次障害が生じてしまうということが少なくありません。そこで、発達障害児・者の支援に携わる者を対象に、講義や実務研修を行い、正しい見識を深め、さらに、関係機関や団体をはじめ、地域の中心となつて自閉症支援を行う人を養成するのがこの研修の目的です。

研修の内容

まず7月に、「集合研修」として、座学の講習がありました。講師の先生方は、まさに自閉症支援のオールスターと呼ぶにふさわしい方ばかりで、保護者の実体験をはじめ、医療・行政からのお話、TEACCHプログラム等、自閉症に特化した取り組みを行っている機関のお話と、盛りだくさんの内容で、みっちり勉強させて頂きました。

次に2箇所の自閉症児・者施設で、1週間ずつの実習に参加しました。私は、日本で初めてできた自閉症者施設である「あさけ学園」、受容的交流理論を掲げる「嬉泉」で、それぞれの施設での取り組みを聞いたり、実際の活動場面に入り、利用者の皆さんと一緒に過ごしました。そして、実習中は毎日必ず、施設の方との振り返りを行いました。

研修はその他にも、発達障害のある当事者が行っている自活動、余暇活動への参加、3月には集合研修があり、講義とともに事例検討会が開催されます。

研修を通して見えるもの

それぞれの講師や施設によって、それぞれの特徴があり、いろいろと考える機会となりました。例えば、「住居環境の個別化」についてです。落ち着くのか？、それとも、人とコミュニケーションをとる機会を避けることになつていないのか？ももちろん、それは状況によっても異なりますが、捉え方により、支援が大きく変わってきます。ただ、いずれも自閉症の方が安心・安定して過ごせることが大切であることに変わりはありません。実習を通して、「自閉症支援の奥深さ」を強く感じました。自分がOKと思つていても、もっと可能性があるのではありませんか？常にそれを振り返りながら支援を行わなければならない、改めて痛感した次第です。長期にわたるこの研修で学んだことを、これから多くの方と共有できるように、たくさんの方とコミュニケーションをとりながら、支援を行って行きたいと思つています。

～研修で学んだこと、活かしたいこと～

めひの野園では、「利用者への職業指導や生活支援のために、まずは担当職員自身がその道のプロ、職人たれ。」という考えのもと、積極的に研修を受け、研鑽を積んでいます。今回はその中の2人が参加した研修を紹介いたします。

研修② 日本セルフセンター製パン部会・製菓部会合同研修会

やねのうえのガチョウ
職業指導員 石川 権一



憧れのシェフの研修へ

平成27年2月3～4日、山口県宇部市・山口市で開催された「日本セルフセンター製パン部会・製菓部会合同研修会」に参加してきました。

富山から片道6時間以上、本州最西端の山口県での研修会へと私を駆り立てたのは、今回の講師が、神戸・北野にある人気パン店「サ・マーシユ」の西川功晃オーナーシェフであることでした。西川シェフの本は何冊も持つていて、私にとってのバイブル的な存在。今回はその西川シェフの実演講習が受けられるとあって、研修案内を見たその日のうちに参加の意志を園長に伝えたところ、快く送り出してくださいました。

美味しいパンの秘訣を学ぶ！

実演講習では、3種類の基本生地と、そのバリエーションを含めて10種類のルセット(レシピ)を教わりました。一番印象的だったのは具材の生地への混ぜ込み方法。ミキサーで機械的に混ぜ込むのではなく、自分の手でカードを使ってカットして重ねることを繰り返しながら生地と生地間に混ぜ込んでいきます。研修から戻り、自分でもやってみましたが、とても食感が良く仕上がりました。こうした一つひとつの工程に、どれだけ手間ひまをかけられるかが、最終的にはパンの美味しさに繋がるのだと感じました。

研修を終えた翌日からほぼ毎日、教わったパンを何度も試作しています。ルセットと自分の五感を照らし合わせながら自分のものにしていくところです。春には新商品として、少しずつ皆さんの春にお届けしたいと思つています。

一つひとつの工程の中にあるちよつとした下準備や工夫、それだけ手間ひまがかかるということは、利用者の仕事になる部分も多いということ。西川シェフや仲間達と過ごした夢のような時間を、他のスタッフや利用者を巻き込み、さらに大きな夢として実現していきたいと思つています。

祝！ 成人

めひの野園

今年めひの野園では6人の利用者さんが成人されました。
新しい門出を迎えた皆さんの作業の様子をお伝えするとともに、それぞれの保護者から届いたメッセージを紹介します。

保護者の声

ウォーム・ワークやぶなみ 石鹸部門

おぐり ひでゆき
小栗 英幸 さん



チーズのフィルムはがしの委託作業を特訓中です。

おめでとう！
あつという間の20年、毎日走っていますね。これからは、ゆっくり過ごしませんか？

保護者の声

作業センター やぶなみ
ふじなみ

しげお
藪 茂翁 さん



毎日、椎茸収穫の際に必要な、新聞を折る仕事をしています。

ふじなみで一生懸命に働いて、将来は結婚して2人の子供の父親になりたいです。

あなたを助け、守ってくださる方々がおられることに感謝し、忘れず、毎日を過ごしていけるように生きていって下さい。

保護者の声

ウォーム・ワーク やぶなみ 栽培部門

かなだ たくや
金田 拓也 さん



きれいなたくさんの花に囲まれ、いつも笑顔で作業に取り組んでいます。たくさんの花の苗を一度に力強く運んでくれる、栽培部門の若きエースです！

成人おめでとう。
毎日やぶなみ頑張った。」と言って充実した様子を見ることができ、嬉しいよ。これからも、笑顔で穏やかに過ごせるように家族皆で応援するからね。

保護者の声

ウォーム・ワーク やぶなみ 石鹸部門

みや けんたろう
宮 健太郎 さん



チーズのフィルムはがしの委託作業に一生懸命取り組んでいます。作業が終わると、メモ用紙に納品先と、かわいい魚の絵を描いて販売員を和ませてくれています。

体は大きくなったけれど、20歳になってもまだまだ甘えん坊の健ちゃん。やぶなみで穏やかに毎日仕事ができ、本当に良かったね。これからも笑顔で元気に過ごせませうよ。

保護者の声

みしまの工房 はたおり班

かいない はるか
海内 晴佳 さん



はたおり班にキラリと光る、かわいい織姫さん。機織りの腕も随分と上達しました。これからどんな素敵な作品が作り出されていくのか、とても楽しみです。

晴ちゃんのこにこ笑顔が大好き。その笑顔に家族は元気をもらい、癒されています。毎日お仕事できる環境に感謝して、これからも、うれしい笑顔をたくさん見せてね。

保護者の声

やねのうえのガチョウ 菓子部門

かくま あやか
鹿熊 彩花 さん



成人式で黒いドレスを着ました。楽しかったです。ファボーレでCDとアルバムとふせんをお給料で買って、マクドナルドでチーズバーガーとポテトを食べて、コーラを飲みたいです。

彩花へ
成人おめでとう。
毎日、ガチョウでお仕事がんばっていますね。
これからも元気で楽しく、笑顔でがんばってね。

3年前からスポーツジムに通い始めた。健康の為、リフレッシュの為に運動する機会を作ろうと思ったことがきっかけである。

群竹 muretake

めひの野園職員の
雑感コーナー



めひの自閉症地域生活支援センター
塩澤 由貴

「どんな運動をするか」、「どんな方法で行うか」、「どの位の頻度で行うか」など、自分が継続するためにどうしたら良いかを考えた。そこで、「色んな運動ができ、利用頻度が決まっている所」が自分に合っていると思い、スポーツジムに入会した。スポーツジムに通うパターンを作ってしまうと、自然と習慣となり、続けることが出来ている。

「今日は何キロ走ろうか」など、その日の目標をたてられるようになった。目標を持つと意欲も湧き、達成した時は、清々しい気持ちになる。そして、スポーツジムに通うことが習慣になると、もっと出来る事があるのではないかと思うようになり、「週1回はランニングしよう」、「食事を変えてみよう」と、新たな効果が生まれた。何気なく過ごす日常よりも、自分の希望や目標を意識した生活を送ることは、自分を大切に生きる事でもあり、心身を健やかにするような気がしている。

目的の為の「良い方法」、「達成可能な目標」、「目標を達成することで生まれる新たな効果」。これは現在の業務にも通じる。私が出会う「ご本人やご家族にとっても、生活がより良いものとなり、心身ともに健やかに過ごしていただけるよう」、「一緒に歩んでいける支援者でありたいと思う。

Good report!

毎年、めひの野園には、介護体験実習で学生が訪れ、障害者福祉の実践の場で利用者に接し、普段は感じることのできない何かを掴んでいきます。

今年度、富山大学医学部から介護体験実習に訪れた、近松勇門さんのレポートを紹介します。

私は以前から障がいについて興味

があり、ぜひこの施設で実習を行いたいと思っていた。めひの野園の利用者さんの多くは自閉症の傾向があるのだが、各々の状態に対して適切な作業や活動を通して、社会との関わりを持つようとしている。

春の苑では、複雑な作業が困難な利用者者と過ごした。当初、奇声や行動に戸惑いを感じ、不安であったが、「何かしら彼らなりに感じ、考えている事があるって伝えようとしているはずだ」と思って接していた。

忘れられないエピソードがある。山

歩きの途中、急に雨に降られ、濡れた利用者さんの髪をドライヤーで乾かしていると、女性の利用者さんが少し濡れたクッションを持ってきてくれた。「座って」という意味で渡されたのだと思ったのだが、後で返そうとしてもなかなか受け取ってもらえない。「何でだろう」と思い、ふと手を見ると、自分がドライヤーを持っていることを思い出した。彼女は濡れたクッションを乾かして欲しかったのである。日常生活の中では理解できないことが多くても、「時間をかけて伝えよう、分かる」という姿勢の必要性を改めて実感した。

みしまの工房では、手工芸品を作る活動をしているのだが、こちらの利用者の中には、芸能人の誕生日を暗記し、○月○日が何曜日なのかを言うことが出来る方や、機織りを誰よりも早く織れる方、時間はかかるものの職人並みに丁寧に織っている方、自分なりの手順がありその通り完璧にやられる方と、個性豊かという言葉がしっくりくる。

自閉症というと、対人関係の構築、コミュニケーションをとることが苦手ということから、自分の世界に籠っ

てしまっているかのような印象を受ける。しかし実際には、個人それぞれの世界というのは孤立して存在しているのではなく、ある程度の関係性を持つており、相互に影響し合っているのだと気付いた。



実習中に行われた春の苑の運動会。後列の右から2番目が近松さん。

作業センターふじなみを訪れた当初、利用者さんに話しかけられたのだが、正直、ここでは利用者さんと職員さんとは一見して区別がつかなかった。この作業所では、運動機能には特に問題のない方が、生活していく為の「自立に向けての働く場」として

働いている。私はここで一緒に働いてみて、利用者みなさんが「働く喜び」を感じているのだと思えた。障がいの有る無しが、出来ること、出来ないことを決定するというより、適切な支援があれば、出来ることを伸ばすことができる、より生き生きと生活できるのだと思えた。

実習で実際に利用者支援に関わってみて、障がいがあるというのはあくまで、多様性や、その人らしさの一部に過ぎず、適切なアプローチの方法を知る前に、その人自身のことをまず見て、向き合っていく必要性があると改めて感じた。多くの場面で指摘されることなのだが、社会と障がいのある方がどう関わっていくのかというのは大きなテーマのように思える。少し昔では、家族がずっと面倒を見ていくべきだと考えられていたが、現実には難しい。障がいのある方が社会と関わり合っていく中で、自立していくあり方を、いま一度考え直さなければならぬだろう。

HOPE!



めひの野園のアンテナショップ「フレンドリーショップ希望」から、採れたて新鮮なおすすめ商品の紹介をしていきます!

今回のイチオシ!

「通園グッズ」(みしまの工房手芸班製作)



バッグ



ティッシュケース



コップ入れ



上履き入れ



みなさん、新生活の準備はお済みでしょうか?フレンドリーショップ希望では、春から幼稚園・保育園に通い始めるお子様にぴったりの通園グッズのセットを販売しています。

以前に来店されたお客様の、「通園グッズがあつたらいいな・・・」という声にお応えし、手芸班で製作を始めました。

お揃いの布で製作した、バッグ・上履き入れ・コップ入れ・ティッシュケースの4点セットで、定価3,000円(税込)です。1つひとつに名札もついており、便利です。

さまざまな色のセットをご用意していますので、お子様にぴったりのものをお選びください。このセット一つあれば、お子様の通園準備もバッチリ!

かわいいグッズに囲まれて、きっとお子様も毎日楽しく過ごすことができると思います♪



フレンドリーショップ希望

〒930-0138

富山市呉羽町 7026 (アルビス呉羽東店敷地内)

☎(076) 434-2040

「フレンドリーショップ希望」は、めひの野園の商品を常設しているお店です。ここでしか買えないような商品を取り揃え、地元の皆様に慣れ親しんでいただける店づくりを心がけています。

今回紹介した通園グッズのように、「希望の店に、こんな商品を置いてほしい・・・。」というご要望がありましたら、店頭職員にお伝えください。できる限りお応えしていきたいと思ひます。

販売促進委員会 浜松 志織

とっておきの

クリスマス会・忘年会特集

ウォーム・ワーク やぶなみ

12月24日に、クリスマス会を行いました。大きなクリスマスツリーをみんなで囲み、目の前にはお寿司や飛騨地鶏の唐揚げ、めひのの平飼卵で作られたクリスマスケーキなど、豪華な昼食が並びました。一緒に作業に取り組んだ仲間や職員と、一年の作業や楽しかった旅行などを振り返りながら、楽しいクリスマス会になりました♪



みしまの工房

12月16日に、呉羽ハイツでみしまの工房忘年会を行いました。ハンバーグや唐揚げ、ケーキなど美味しい食事に皆さん大満足でした。食後はカラオケ大会でクリスマスソングなど、一人ひとり好きな歌を歌って楽しみました。とても盛り上がり、楽しいひと時となりました。



作業センター ふじなみ

12月9日に、ふじなみ食堂で開催された忘年会では、日頃お世話になっている地域のお店から、お寿司やオードブル、ピザなどを取り寄せ、美味しいお料理と大好きなカラオケを満喫しました。年末年始の繁忙期に向け、「また仕事を頑張ろう!」とやる気が湧きました。



今回特集したクリスマス会・忘年会は、「NHK歳末たすけあい」より助成をいただき開催されました。「NHK歳末たすけあい」は共同募金を通して、国内の福祉施設や支援を必要とする方々のために役立てられています。

しいたけくん

第36回 こんな正夢は何だ...!
の巻



(描・おかちん)

11月30日～12月1日に、毎年恒例のグループホームの忘年会旅行がありました。立山国際ホテルで一泊し、カラオケ大会やビンゴゲームなどで盛り上がりました。

梨の木苑



12月18日に、いわせのA棟・B棟合同のクリスマス会がありました。当直の学生さんたちが、ゴスペルや管楽器演奏などの出し物で楽しませてくれました。サンタに扮した園長先生にプレゼントも配っていただき、楽しいひとときとなりました。

いわせの



やねのうえの ガチョウ

12月20日、毎年恒例の忘年会に出かけました。JR呉羽駅から小杉駅まで電車で移動し、クアトロブーム小杉にてボウリングとカラオケに分かれて楽しみました。ボウリング組はナイススコアにハイタッチで、カラオケ組は賑やかな歌声と手拍子で盛り上がりました。



自慢の商品ズラリ！ 「ハーティとやま in 婦中」

障がいのある方の自立と就労を目指し、県内の障害者施設や事業所が制作した様々な商品を販売する共同イベント「ハーティとやま」。

今年度はこれまで、アル・プラザ小杉、ショッピングステイアピア、フューチャーステイアポールで開催され、会場には県内の各施設や事業所からの自慢の商品が数多く並びました。

めひの野園では、卵、椎茸、パン、飛騨地鶏といった食品をはじめ、石鹸や手工芸品、野菜、花などを販売しました。



2月21日(土)、22日(日)に、婦中町のフェアホールので開催されたハーティとやま。ご覧のとおり大盛況でした！

お知らせ

次回の開催は、いよいよ今年度最終となります。
3月20日(金)〜22日(日)、魚津ショッピングスクエアサンプラザにて！
みなさま、ぜひ足を運んでみてくださーい！
(営業・販売課 野嶽真希子)

作業センターふじなみ 「ホイール運搬車」整備完了

当事業所では、椎茸発生ハウスで収穫した椎茸を、選別・パック詰めを行うパックセンターまで効率的かつ安全に運搬するために、「ホイール運搬車」を整備いたしました。

当車輛を整備するにあたり、平成26年12月に富山県幹部職員より贈呈された「富山県幹部職員歳末たすけあい義援金」を充当させていただきました。

ここに、整備の報告を申し上げるとともに、感謝の意を表します。

一、総事業費

686,880円

一、富山県幹部職員

歳末たすけあい義援金

100,000円



ご寄付ありがとうございました。

(H26.12.12〜H27.2.27) 敬称略

- 富山福祉短期大学 射水市
- めひの野園保護者会 富山市
- 佐藤理容院 富山市
- 富山国際大学 富山市
- 石橋 孝史 富山市
- 廣田 美千代 富山市
- 沖村 富美子 富山市
- 高見 悦子 富山市
- 麦谷 和夫 富山市
- (福)富山県社会福祉協議会 富山市
- 発達障害支援スーパーバイザー養成研修事務局 富山市

大分県豊後大野市

- 富山短期大学 富山市
- 山崎 智子 富山市
- 日本社会事業大学 東京都清瀬市
- 寄付金振込口座番号 北陸銀行五福支店 店番号140
- 普通預金4041542
- 社会福祉法人 めひの野園

後援会名簿

(H26.12.1〜H27.2.28) 敬称略

- 七澤 邦彦 高岡市
- 増田 羊子 射水市

後援会振込口座番号
北陸銀行五福支店 店番号140
普通預金4250590
めひの野園後援会

来訪者

(H26.12.11〜H27.2.23) 敬称略

- (福)マーシ園 高山 光夫
- サントリービバレッジサービス(株) 安部 睦
- 島石油(株) 早川 修市
- (株)フードシステム 千谷 武
- (株)日立ビルシステム 今井 義範
- マックスパリュ北陸(株) 上飯野店 杉本 理
- 高木自治会 中村 正弘
- (株)浪速電機工業所 草野 久志
- 北陸電力(株)研修センター 藤城 彰
- 富山市議会議員 小木 雅人
- (株)グアイドードリンク北陸 高岡営業所 南 俊正
- テレ通(株) 定広 聡
- 東洋ゴム北陸販売(株) 孝島 禪
- 岐阜県立飛騨古城特別支援学校 野村 勇司
- 岐阜県立飛騨古城特別支援学校 野口 博一
- 野口 敦史
- 清水 学
- 村藤 幸作
- 中村 祥二
- 市川 健
- 富山県富山土木センター 新村 光生
- 太陽スポーツ販売(株) 伊林 浩平
- 富山市福祉保健部 牧野 仁美
- 射水市浅井地区社会福祉協議会 宮村 健壯
- デンタルサポート(株) 丹羽 勝典
- 北陸フジクリン(株) 水谷 俊一
- 富山西警察署 池多警察官駐在所 福田 正和
- 西村 仁志

編集後記

インターネットの時代となった昨今、若者たちによる凶悪犯罪が後を絶たない。「至誠にして動かざる者は、未だこれあらざるなり。」

中国の儒学者「孟子」の言葉で、明治維新の精神的支柱「吉田松陰」の信条の根幹をなした言葉であり、安部晋三首相が「座右の銘」としている。

「誠意を尽くして事にあたれば、どのようなものでも必ず動かすことが出来る」と言う意味であり、無理だと思ふような事でも、行動することが大切だという意味もある。

インターネットの発達によって色々な情報が氾濫し、携帯の普及によって相手の顔を見て話し、その表情から相手の心情をおしはかることのできにくい現在、最も希薄になっているのが、誠意・まごころであると言われる。一昨年来、道徳の授業時間を「特別な教科」に格上げする議論が、文部科学省の有識者会議で検討されているが、いまだ実施には至っていない。(道徳教育の重要性を感じているのは、私だけなのだろうか。)

松陰先生は常々「松下村塾」において、門下生たちに「あなたの生まれきた役割は何か」と問いかけていたそうである。

(匡記)